

第6期（平成29・30年度）

北方町ワイガヤ議会 報告書

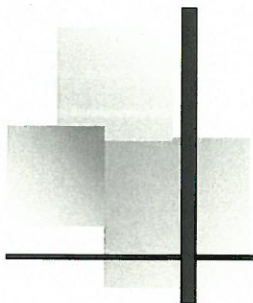
平成30年11月

北方町

目次

グループからの報告

グループ1	2
グループ2	16
グループ3	51



グループ1

ワイガヤ議会 第1グループ

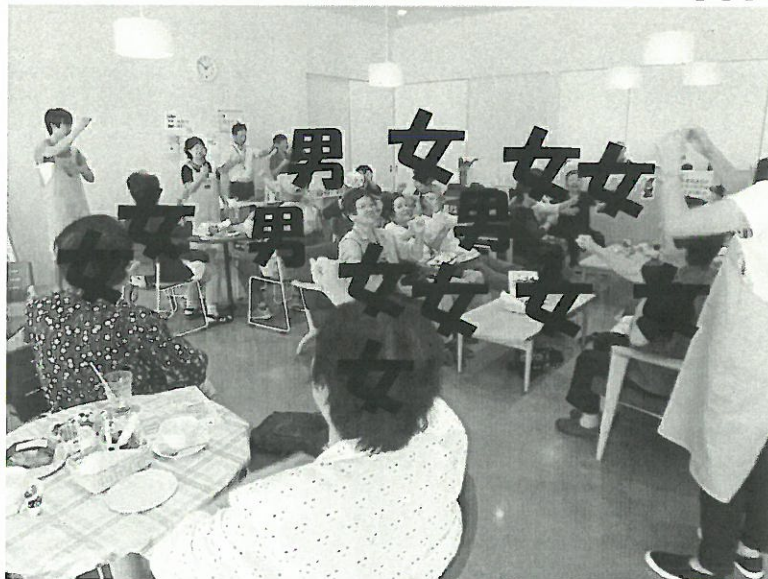
そうだ
ホツと・カフェ
行こう。

ホツと・カフェ



先ほどの写真を見てあることに
気づきませんでしたか？

ホッと・カフェに参加する方々の特徴

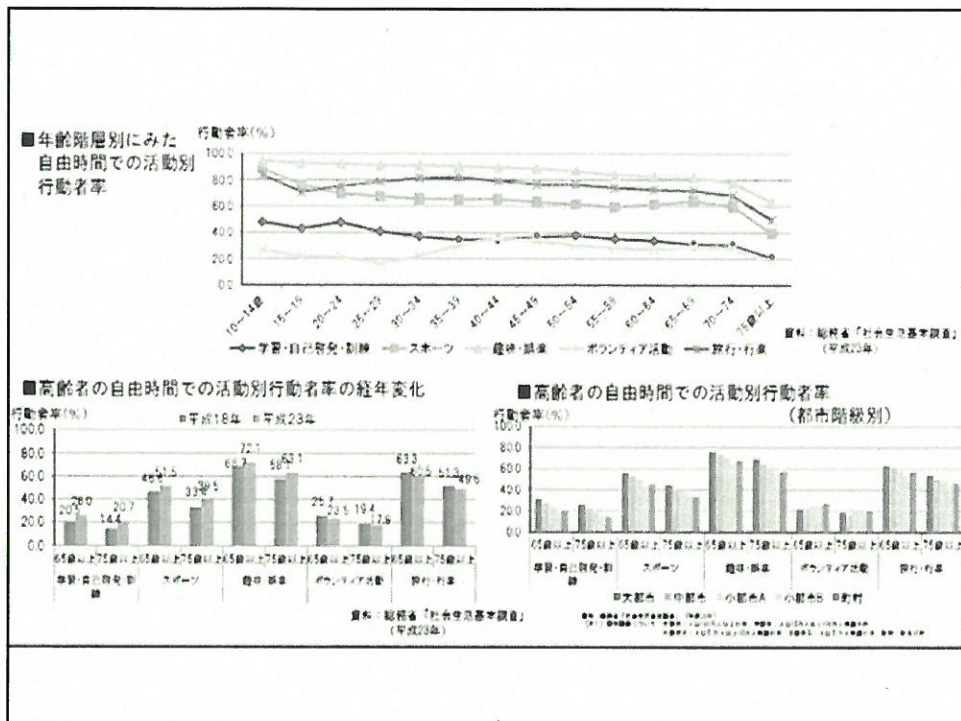


ホッと・カフェに参加する方々の特徴

- ホッと・カフェの参加者を見てみると参加者がいても男性参加者が少ない
- 男性参加者はいつも顔ぶれが同じ

目次

- 各種調査や統計から見る高齢者の生活、外出特性について
- 心理学観点から見る高齢男性の傾向
- 男性を呼び込むホッと・カフェ企画案！

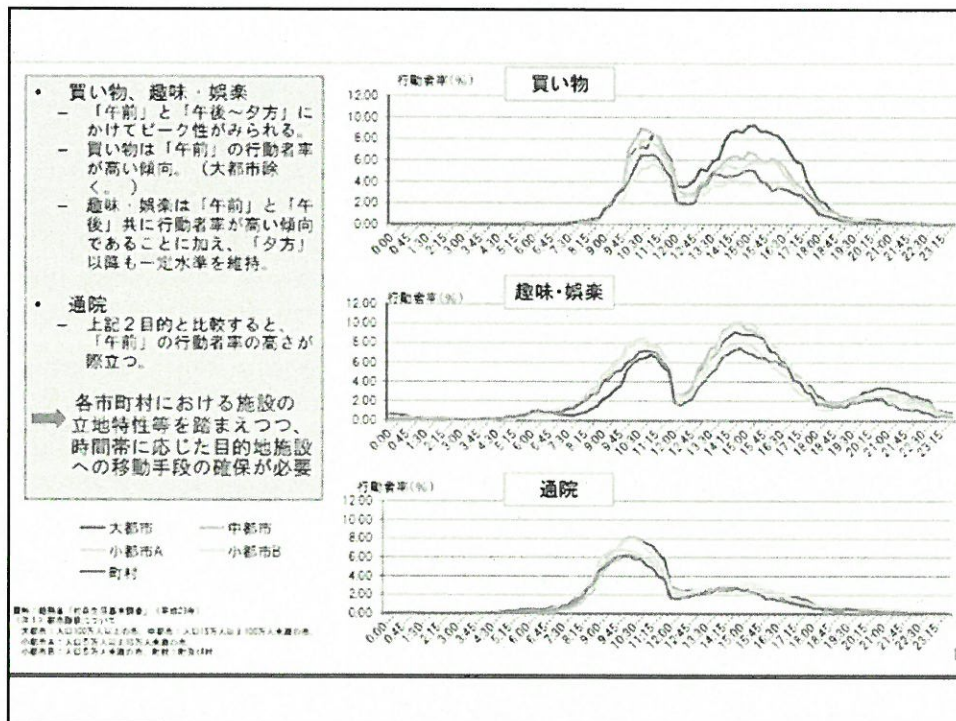


高齢者の生活・外出特性について

- ・「学習・自己啓発・訓練」や「スポーツ」を行う人が増加傾向
- ・「趣味・娯楽」「旅行・行楽」が多いが、若年層・中年層に比べると行動者率が低下

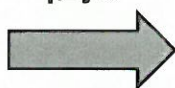


多様化する高齢者の活動への対応が必要

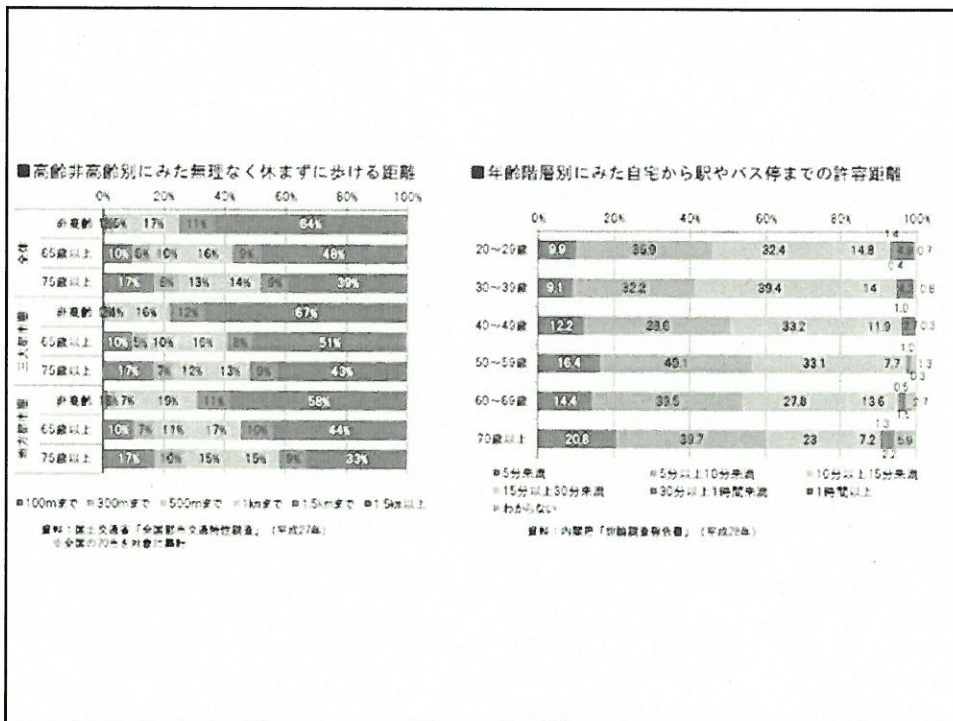


高齢者の生活・外出特性について

- ・ 「午前」「午後～夕方」にかけてピーク性がみられる
- ・ 買い物は「午前」の行動者率が高い
- ・ 通院においても「午前」の行動者率が高い



**施設の立地特性等を踏まえ、
 時間帯に応じた目的地施設への
 移動手段の確保が必要**

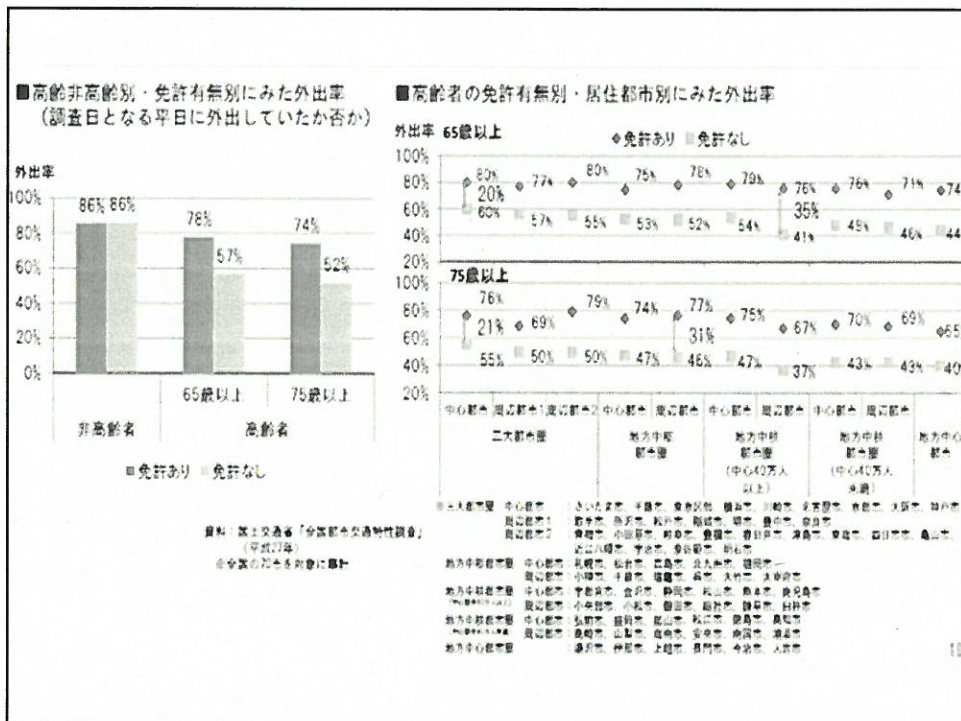


高齢者の生活・外出特性について

- 無理なく休まずに歩ける距離が100mまでとする人は高齢者の1割
- 自宅から駅やバス停までの許容距離として5分未満であるという人が2割



高齢者の徒歩可能距離を考慮した、インフラ整備が必要

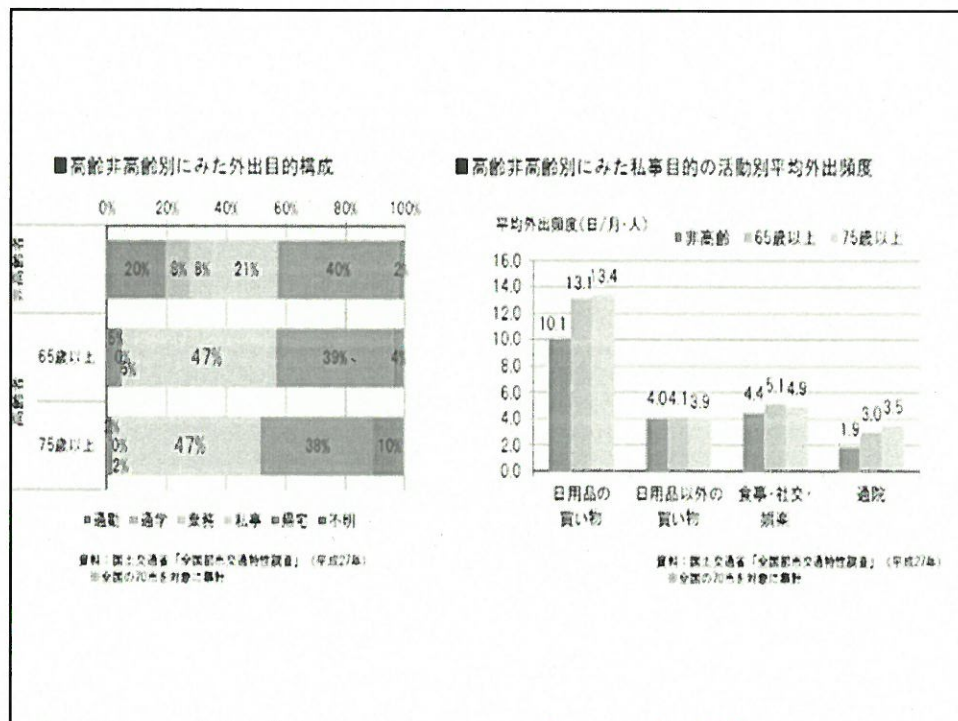


高齢者の生活・外出特性について

- ・免許を持つ人より免許を持たない人の方が外出率が20%～30%低い



免許の有無が外出の支障とならないよう、移動手段の確保が必要

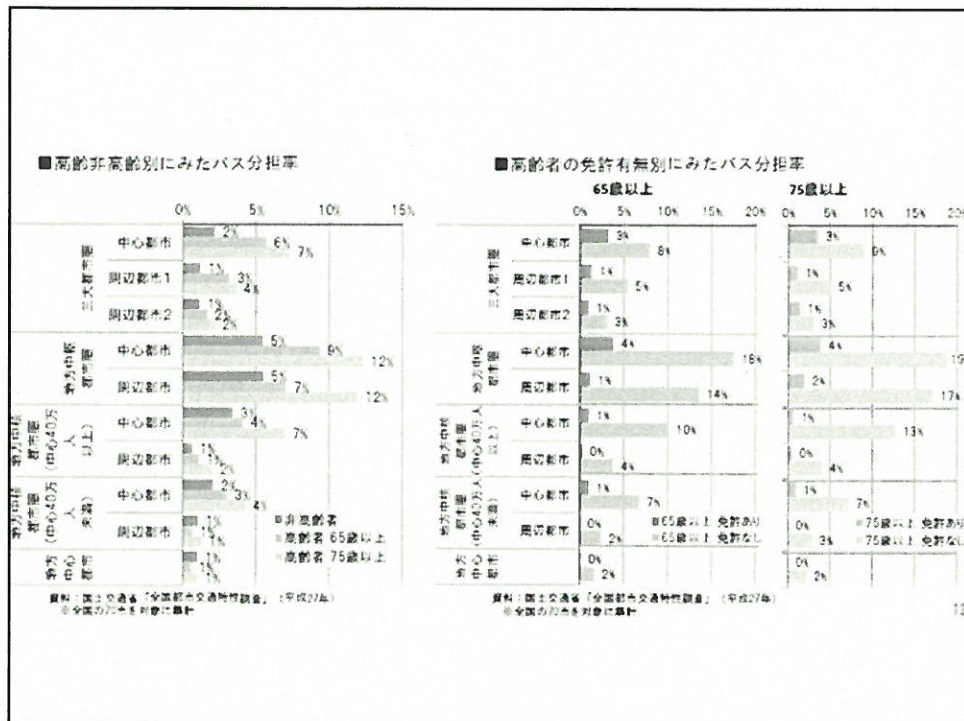


高齢者の生活・外出特性について

- ・ プライベート(私事)での外出比率が高い
- ・ 外出頻度で見ると、「日用品の買い物」「食事・社交・娯楽」の頻度が高い一方、「通院」は月3回程度に留まる



需要に対応した交通網が必要



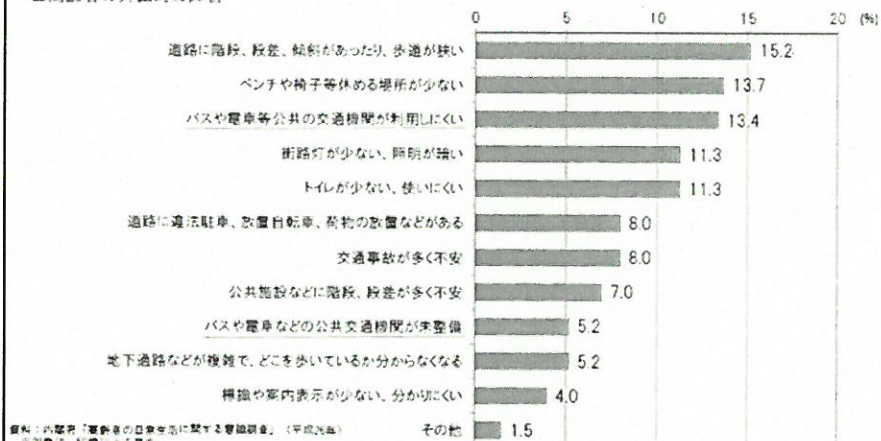
高齢者の生活・外出特性について

- ・若年層・中年層に比べ、バス分担率が高い傾向にある
- ・免許を持つ人より、持たない人の方がバス分担率が高い



バスが、地域の公共交通機関として、高齢者に生活の足を提供

■高齢者の外出時の障害

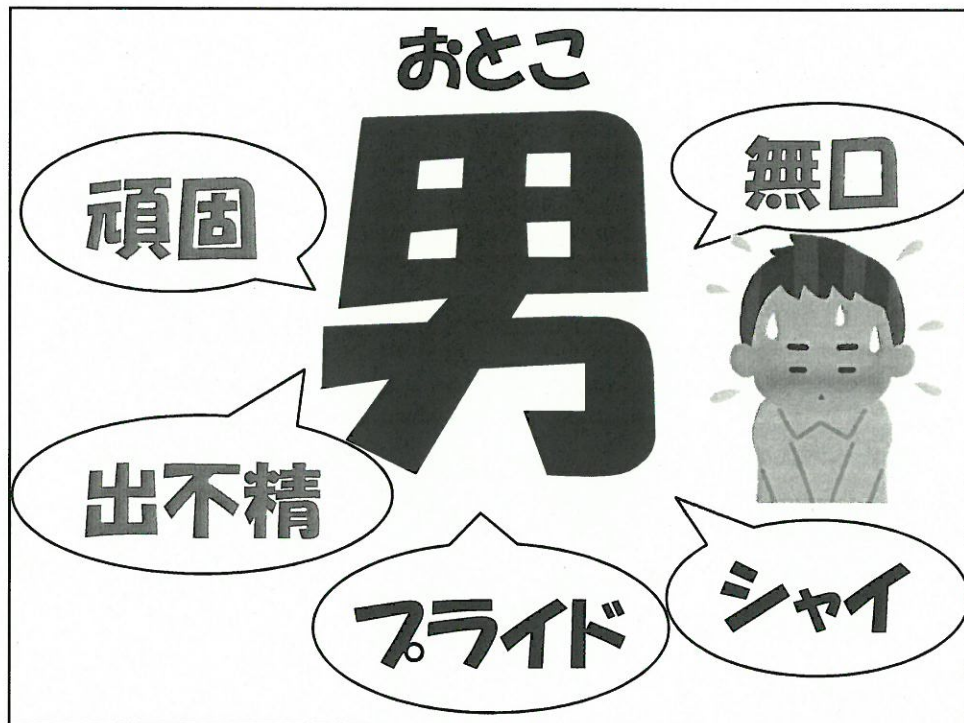


高齢者の生活・外出特性について

- ・ 高齢者の外出時の障害として、段差や傾斜・歩道の狭さといった環境を指摘する人が最多
- ・ 休憩場所やトイレの不足、分かりづらい表示を指摘する声も散見



**公共交通機関における利便性
への指摘も踏まえ、更なる環境
整備に取り組む必要**



心理学的観点から見る 高齢男性の傾向

- 会合の内容で行く気が増す
⇒ 弁当やお酒は重要
⇒ 講師は女性がいい
⇒ 何か目的が必要
- 会合での男性比率・存在の重要性
同年代で少人数の会合がいい



ホッと・カフェの企画案！

女子大生と

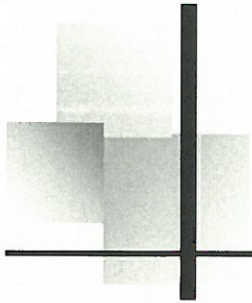
- 利き酒大会
- お菓子の試食会（フランボワーズ）
- お菓子づくり、料理教室
- 豚汁、ご飯の炊き出し
- My酒、しょうゆ作り



今後の方向性

- 北方町役場つどいの広場を使用して男性限定のホッと・カフェを試験的に開始する
- 初回実施から半年間、統計をとる
- 楽しんでもらい、また来たいと思ってもらうことが大事

**ご清聴いただき
ありがとうございました**

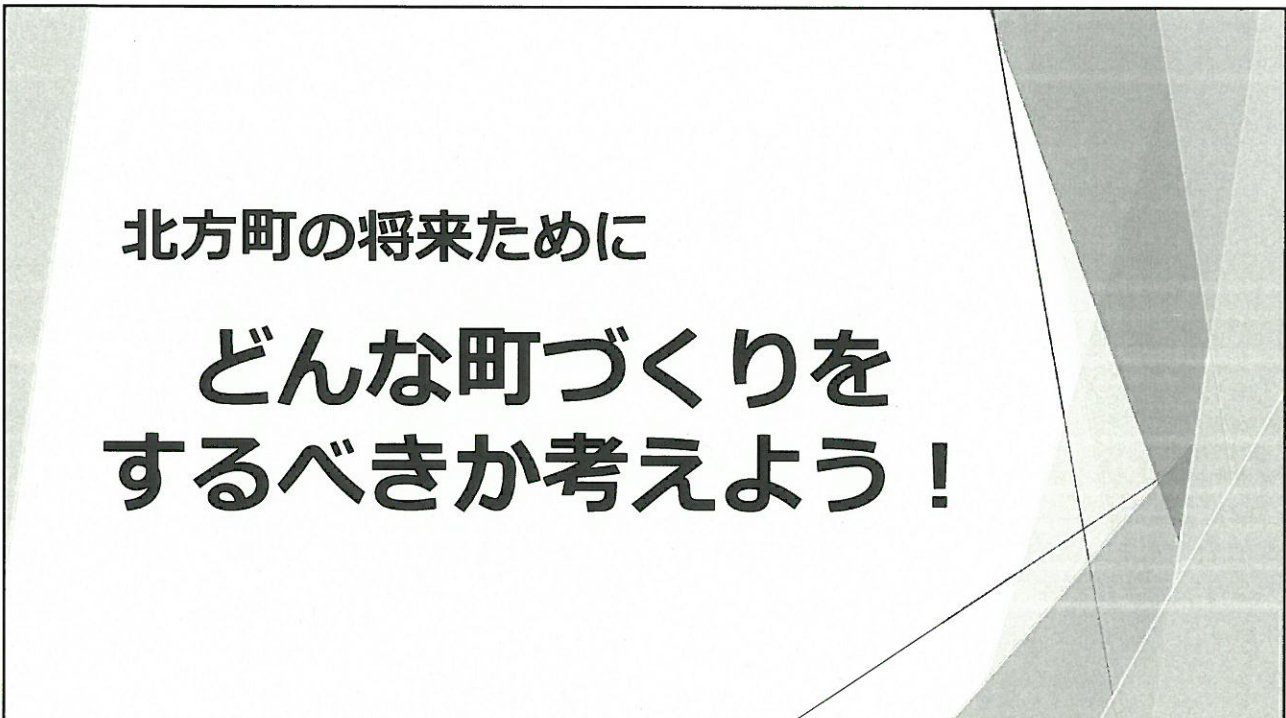


グループ2

ワイガヤ議会 最終報告 グループ2

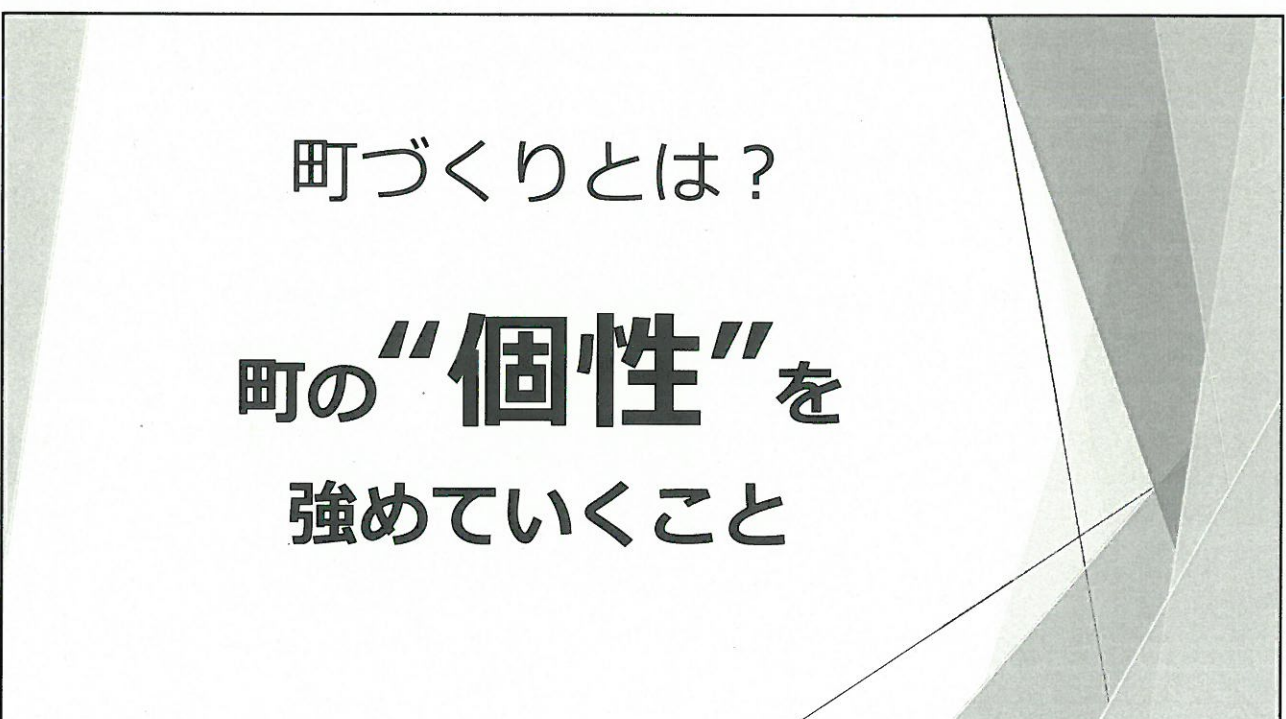
古田	幹樹	松葉	智絵
伊藤	太一	安江	未裕
汲田	明子	横山	菜未
小森	哲朗	吉田	未紗希

グループ2のテーマ



北方町の将来ために

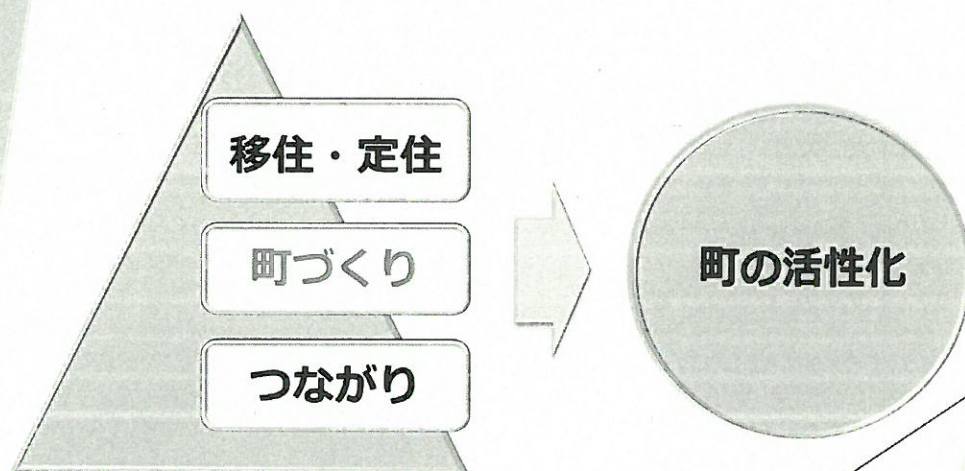
**どんな町づくりを
するべきか考えよう！**



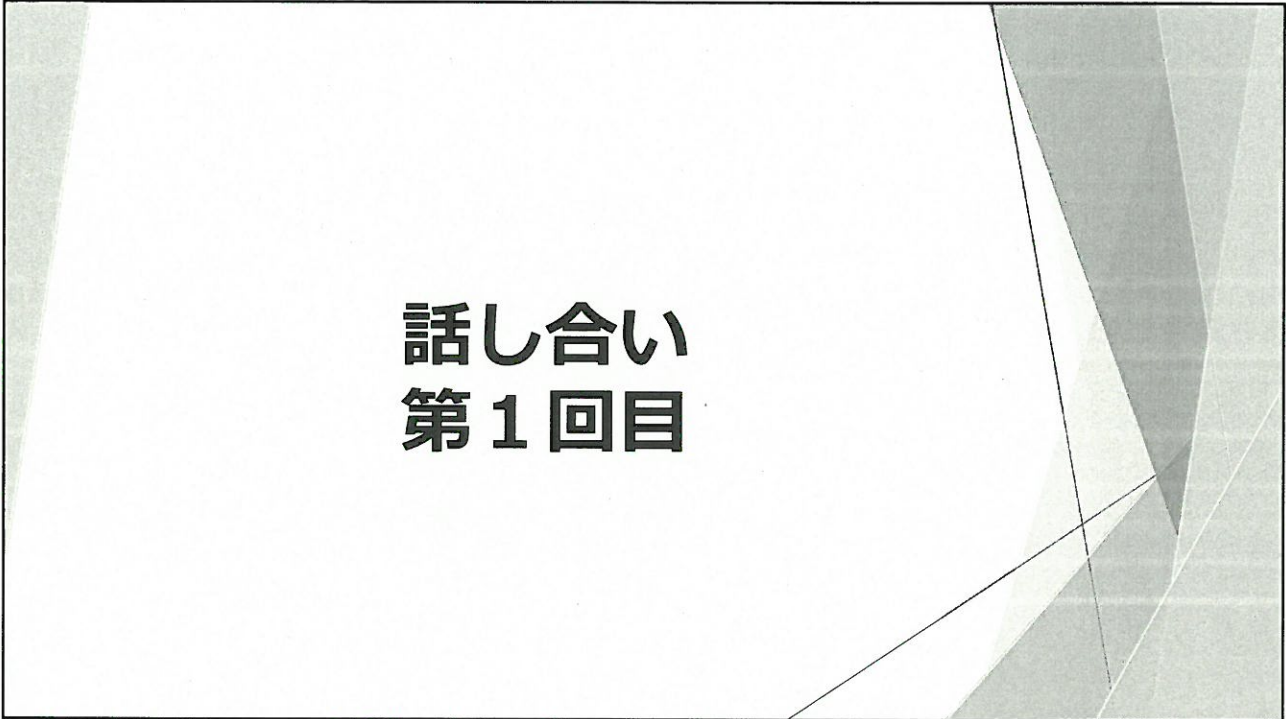
町づくりとは？

町の**“個性”**を
強めていくこと

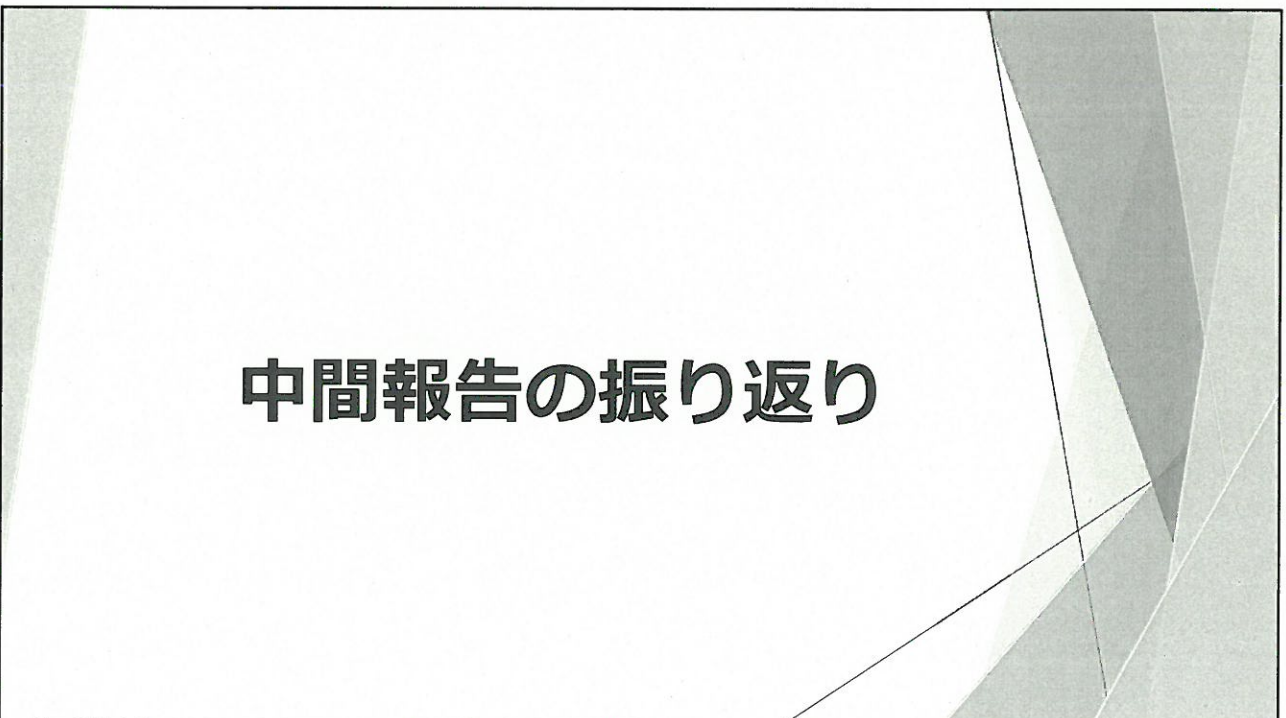
私たちの考え



テーマ決定までの流れ



話し合い 第1回目

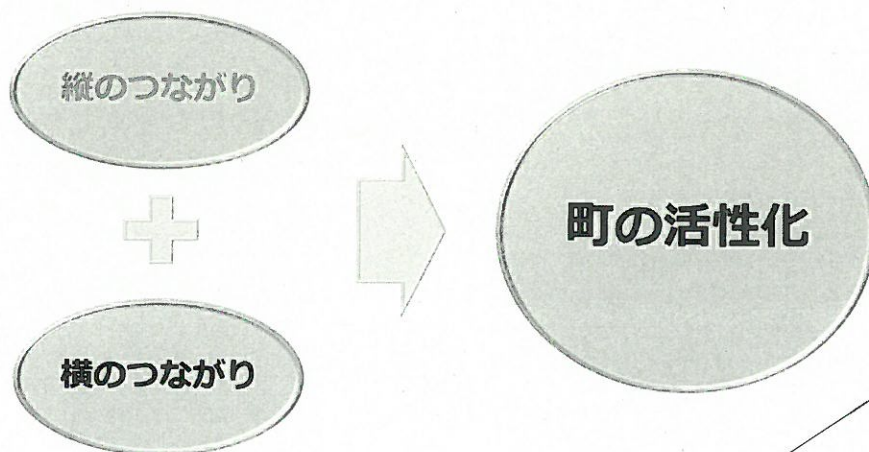


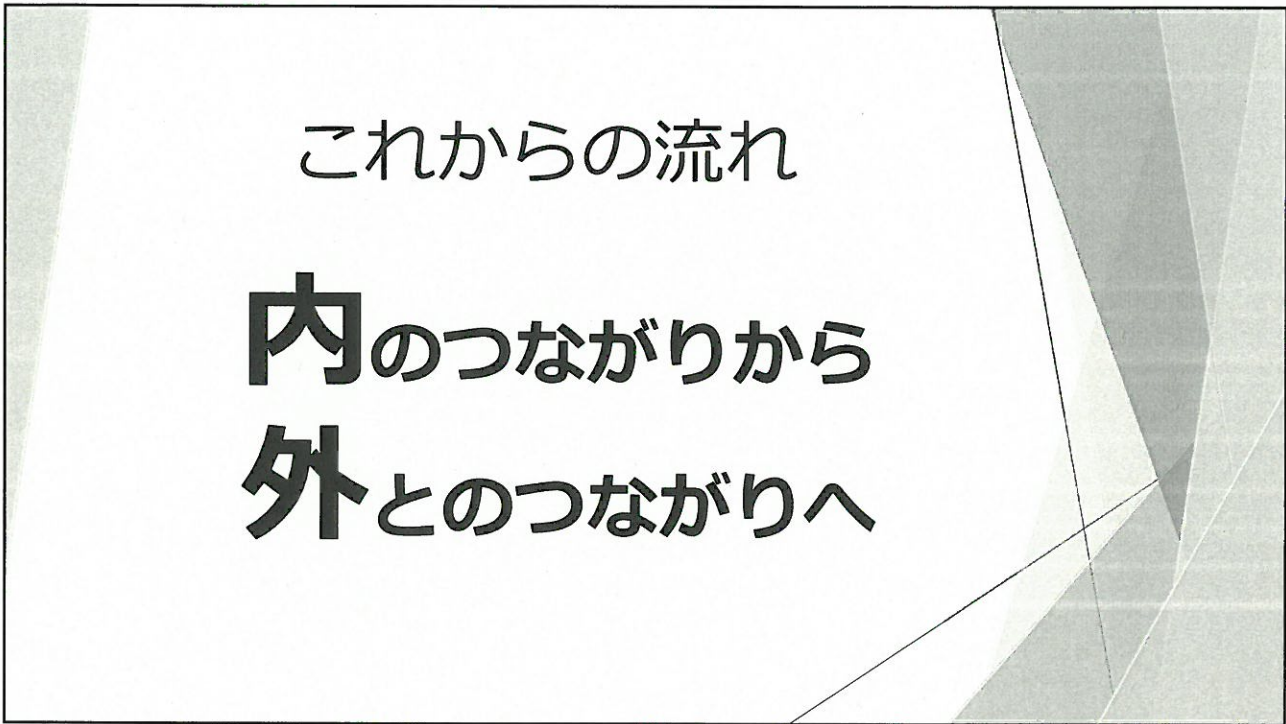
中間報告の振り返り

グループ2のこれまで

町の中のつながりを 増やす提案

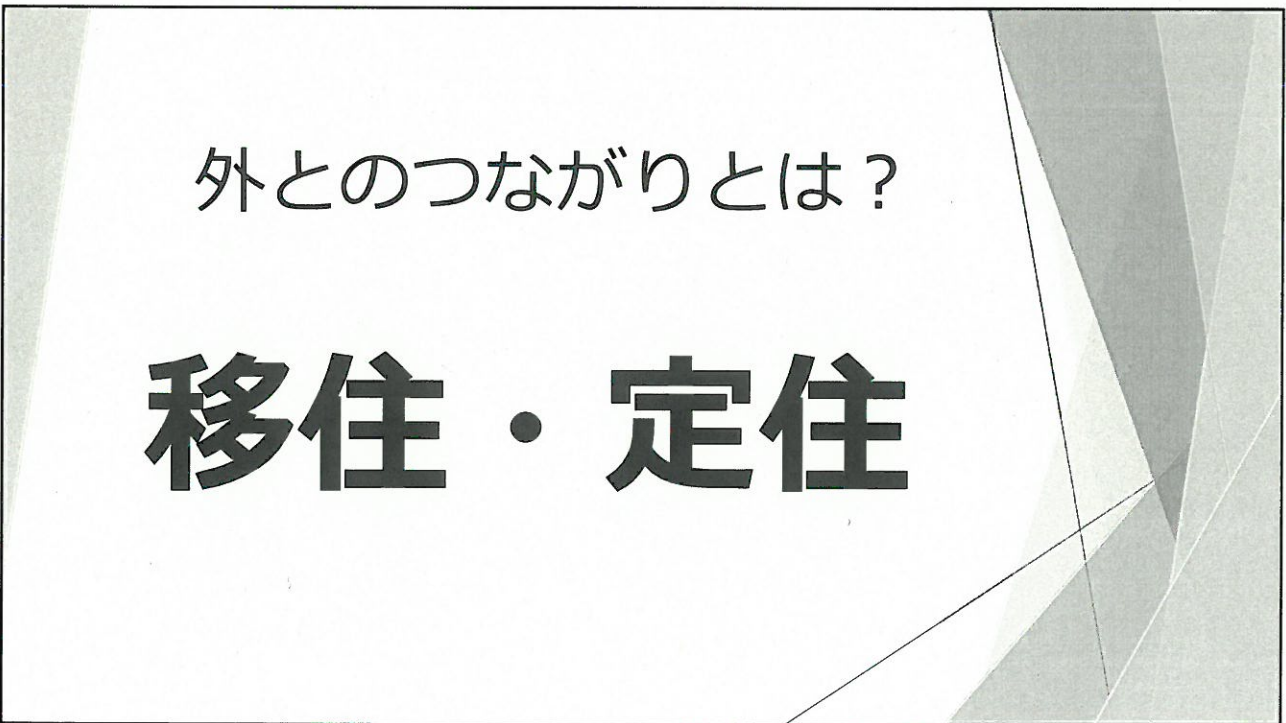
これまでの考え





これからの流れ

内のつながりから
外とのつながりへ

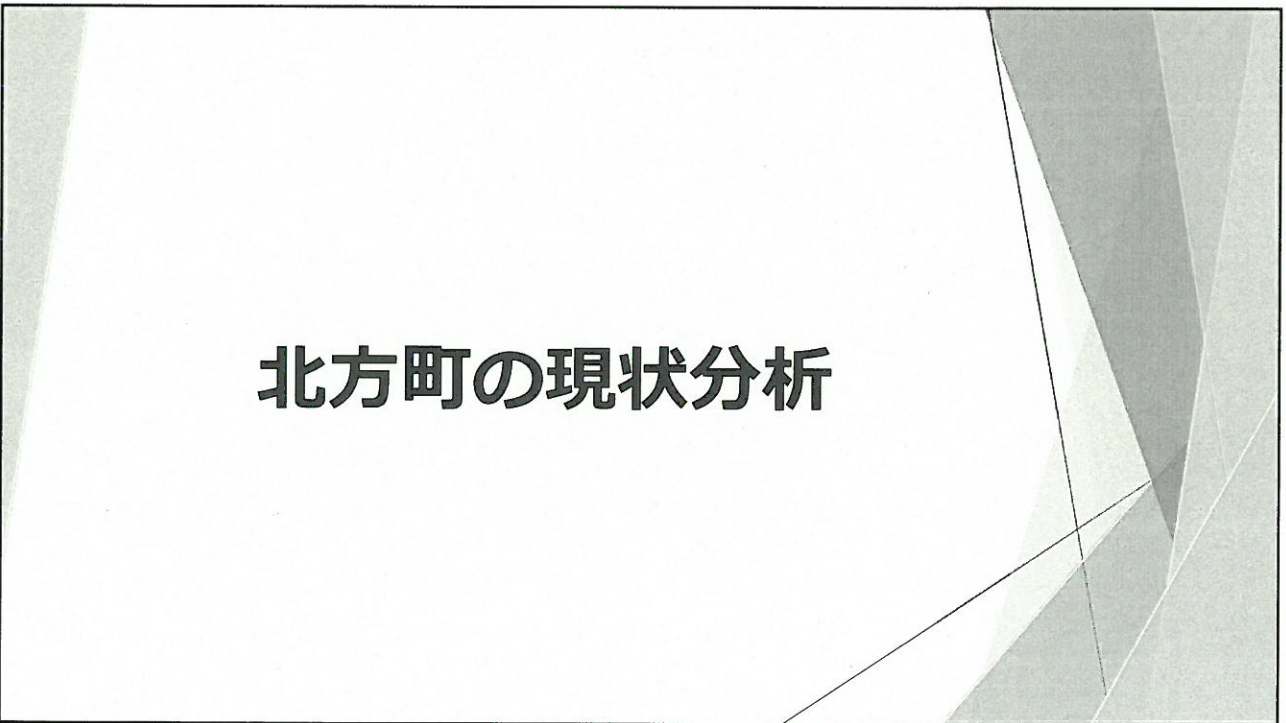


外とのつながりとは？

移住・定住



話し合い 第2回目

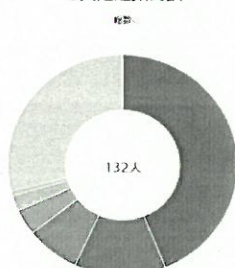


北方町の現状分析

北方町の転入・転出

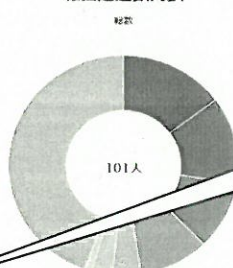
岐阜県北方町 From-to分析（定住人口）2016年

転入超過数内訳



- 1位 岐阜県岐阜市 58人 (43.94%)
- 2位 岐阜県海津市 17人 (12.88%)
- 3位 岐阜県関市 10人 (7.58%)
- 4位 岐阜県関市 5人 (3.79%)
- 5位 岐阜県大垣市 3人 (2.27%)
- 6位 岐阜県各務原市 1人 (0.76%)
- 7位 その他 18人 (13.79%)

転出超過数内訳



- 1位 岐阜県一宮市 15人 (14.85%)
- 2位 岐阜県笠松町 13人 (12.87%)
- 3位 岐阜県神岡町 10人 (9.90%)
- 4位 岐阜県金沢町 10人 (9.90%)
- 5位 岐阜県津市 4人 (3.96%)
- 6位 岐阜県羽島市 3人 (2.97%)
- 7位 岐阜県大野町 1人 (0.99%)
- 8位 その他 45人 (44.55%)

近隣地域からの
移住が多い

若い移住者の声

- ・ 地理的条件が良かった
- ・ 住んでみると良さが分かる

北方町のイメージ

静 と 動

田舎的要素

都会的要素

北方町の特徴

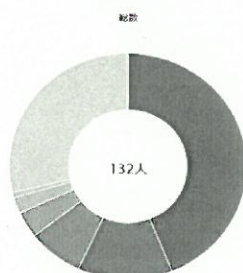
- ・ 住みやすいベッドタウン
- ・ 近隣地域からの移住が多い

一方で

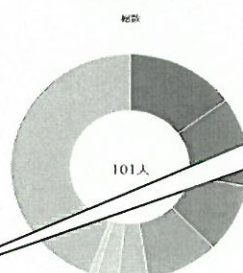
北方町の転入・転出

岐阜県北方町 From-to分析（定住人口）2016年

転入超過数内訳



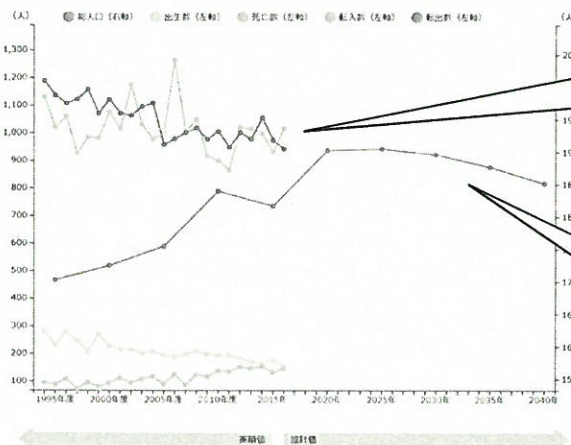
転出超過数内訳



遠くからの
移住は少ない

北方町の人口推移①

出生数・死亡数 / 転入数・転出数

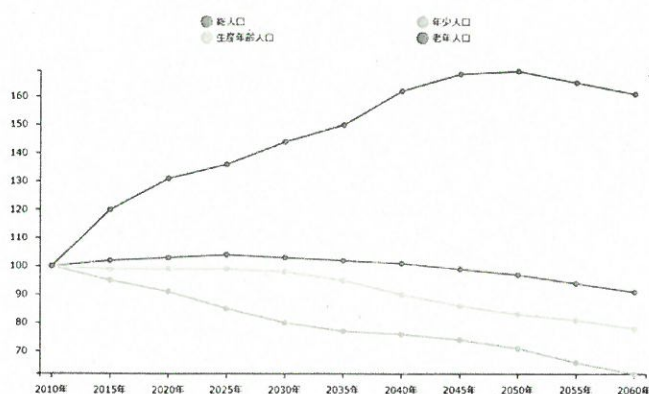


人の出入りが
激しい

人口減少が
起こりうる

北方町の人口推移②

年齢3区分別人口推移



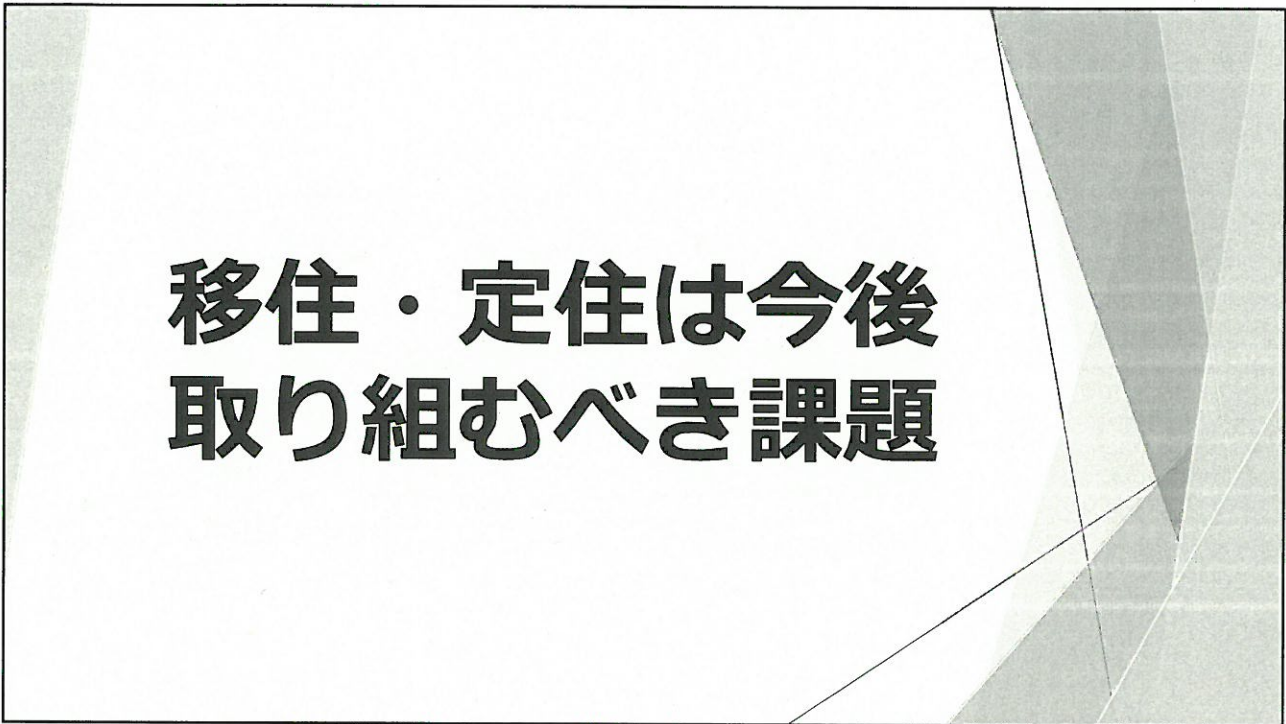
高齢者の増加

若い世代の減少

北方町の不安要素

- ・ 人の出入りが激しい
- ・ 遠くからの移住は少ない
- ・ 人口減少が起こりうる

やはり



移住・定住は今後 取り組むべき課題



だから

移住・定住のために

**町をどうPRするか
考えよう！**

**話し合い
第3回目**

北方町の魅力探し

- ・ 北方町の特色って何？
- ・ 他の地域にはない
北方町だけの魅力って何？

北方町のイメージ

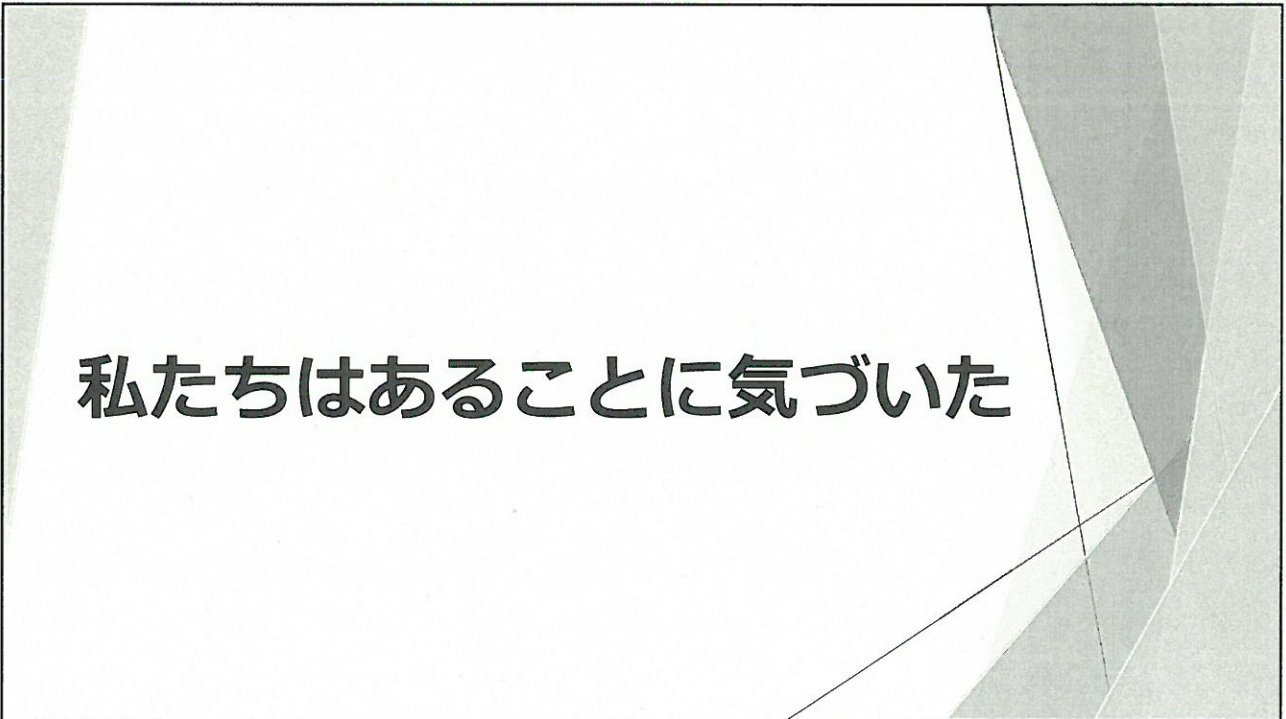
静 と 動

田舎的要素

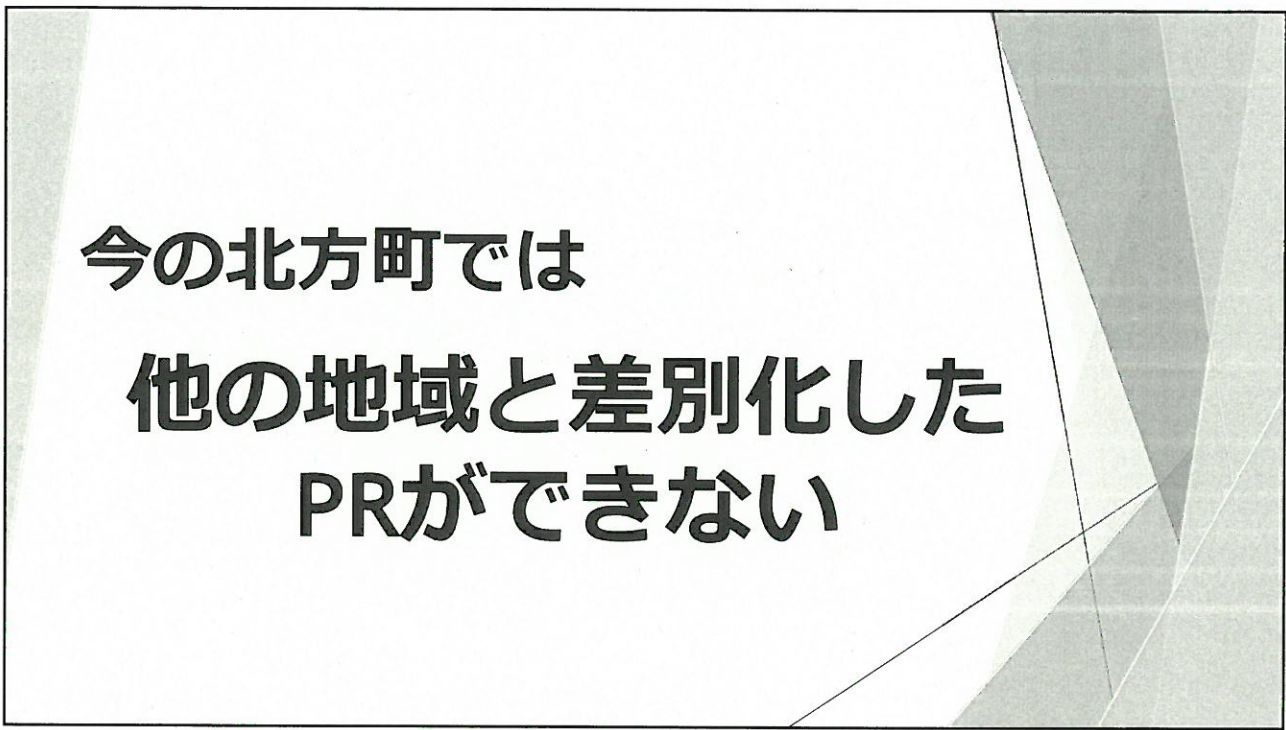
都会的要素



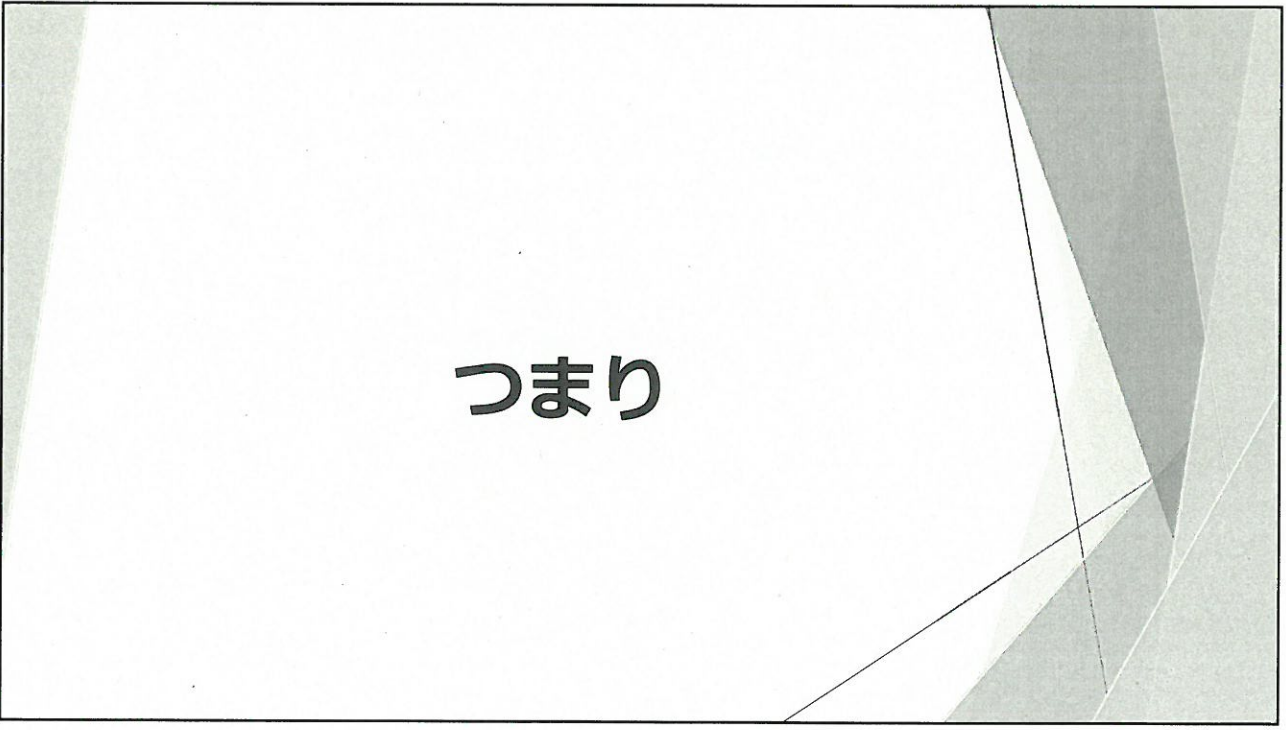
しかし



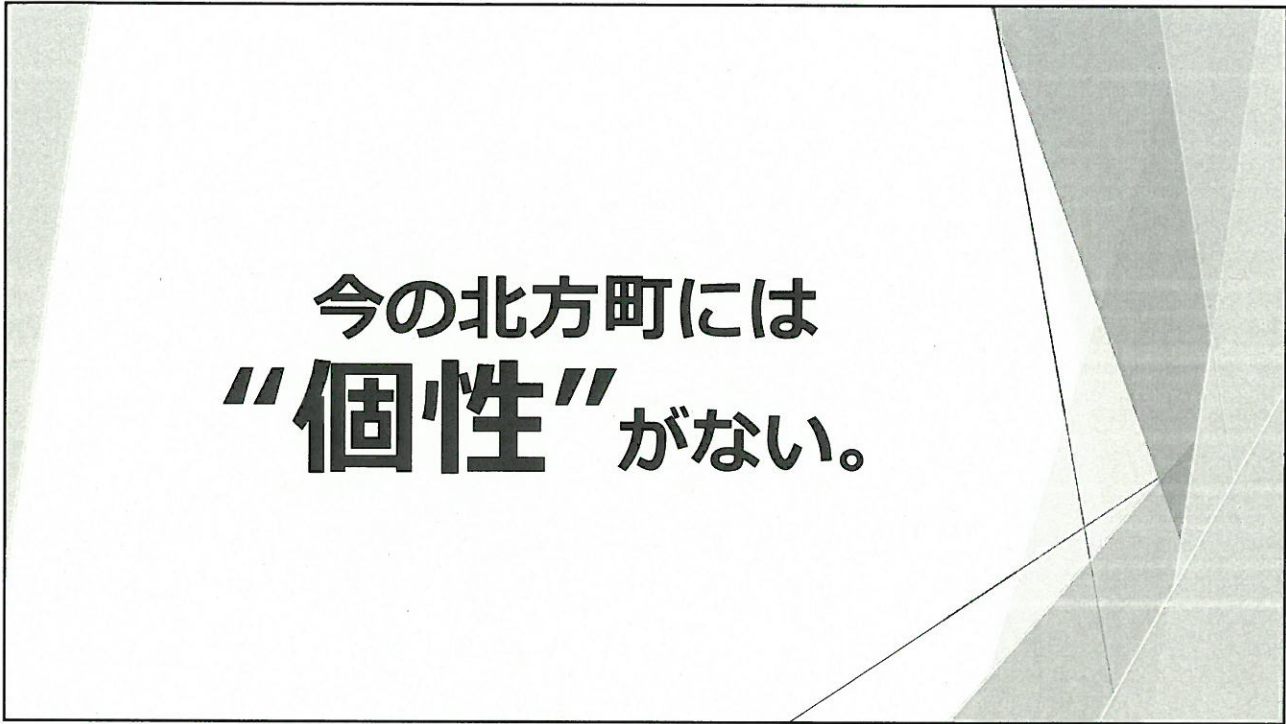
私たちはあることに気づいた



**今の北方町では
他の地域と差別化した
PRができない**



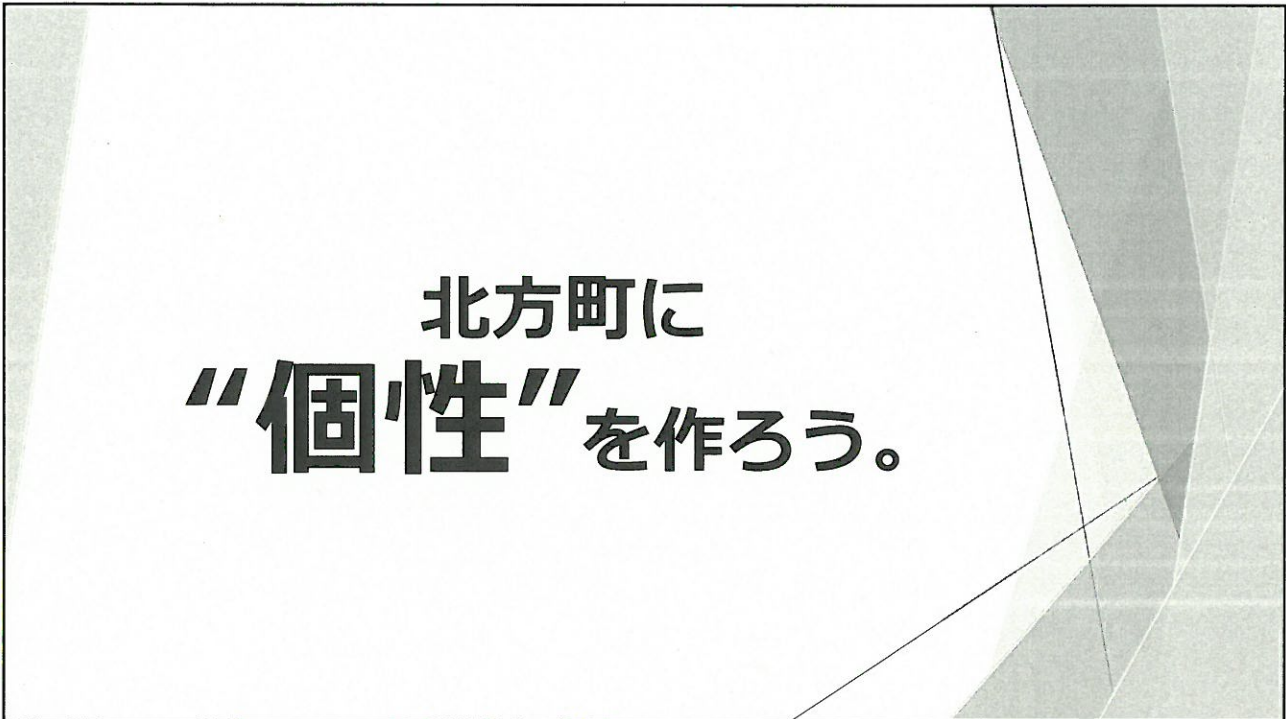
つまり



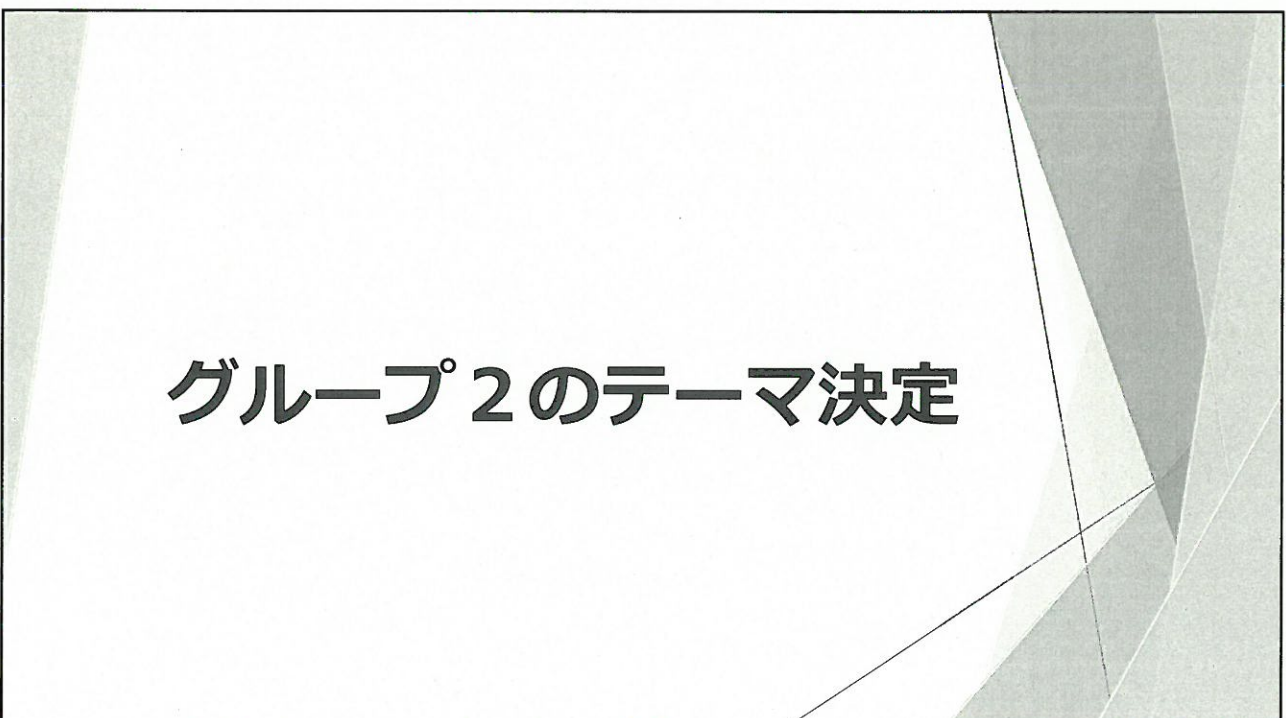
今の北方町には
“個性”がない。



ならば



北方町に
“個性”を作ろう。



グループ2のテーマ決定

北方町の将来ために

**どんな町づくりを
すべきか考えよう！**

私たちの考え

移住・定住

⇒ 外とのつながり

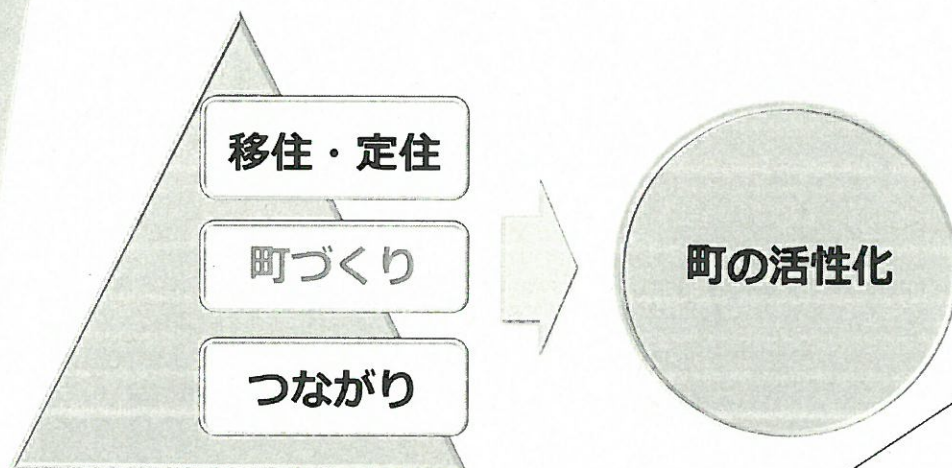
町づくり

⇒ 個性づくり

つながり

⇒ 内のつながり

私たちの考え



町づくりのメリット①

**北方町という町を
理解しやすくなる**

町づくりのメリット①

理解しやすくなる
愛着を持ちやすくなる
移住・定住につながる



町づくりのメリット②

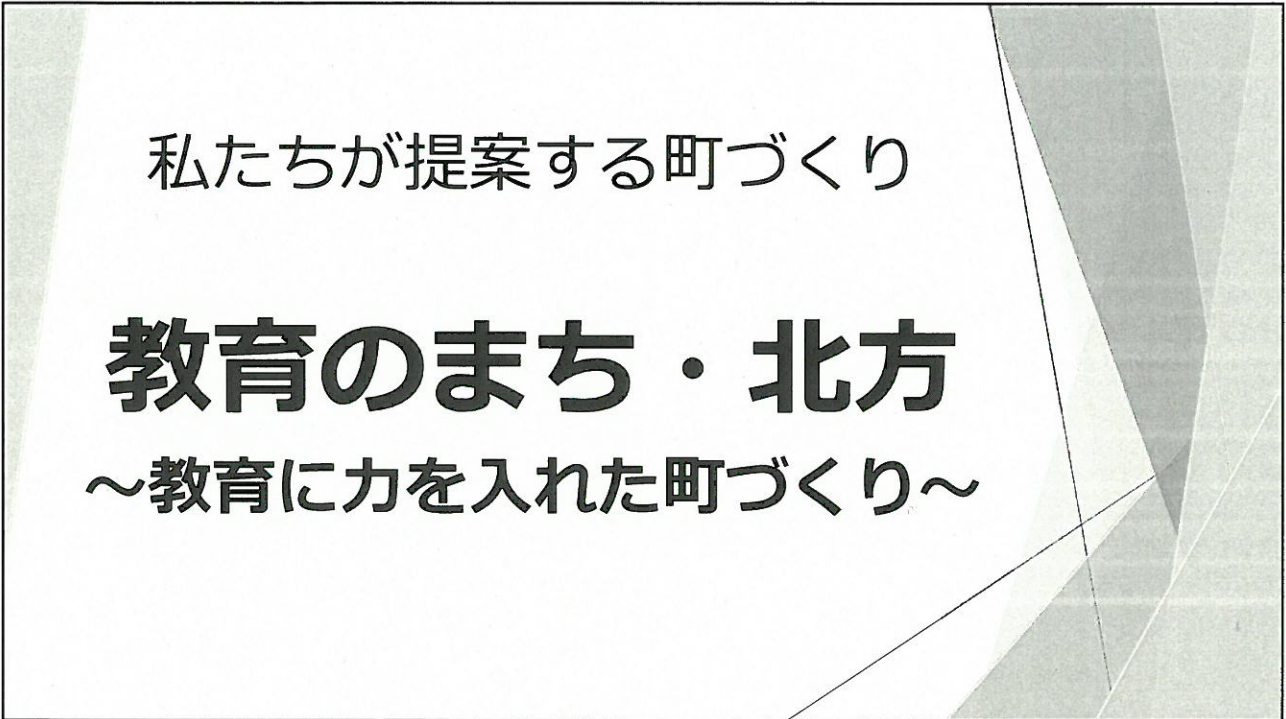
**北方町という町を
表現しやすくなる**

町づくりのメリット②

表現しやすくなる
情報伝達をしやすくなる
移住・定住につながる



私たちが提案する
町づくりのコンセプト決定



私たちが提案する町づくり

教育のまち・北方

～教育に力を入れた町づくり～



話し合い
第4回目

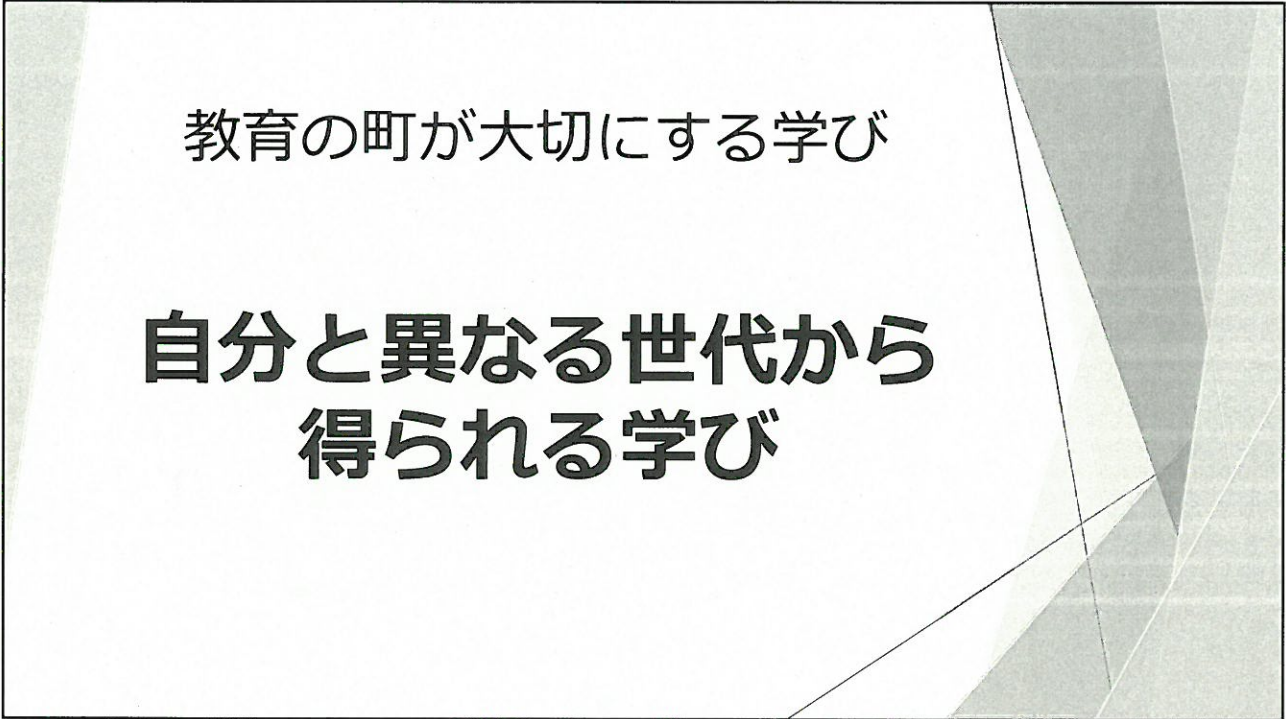
教育に目を付けた理由

- ・ 北方学園構想
- ・ 移住者が若い世代

→ 移住・定住に結びつきやすい

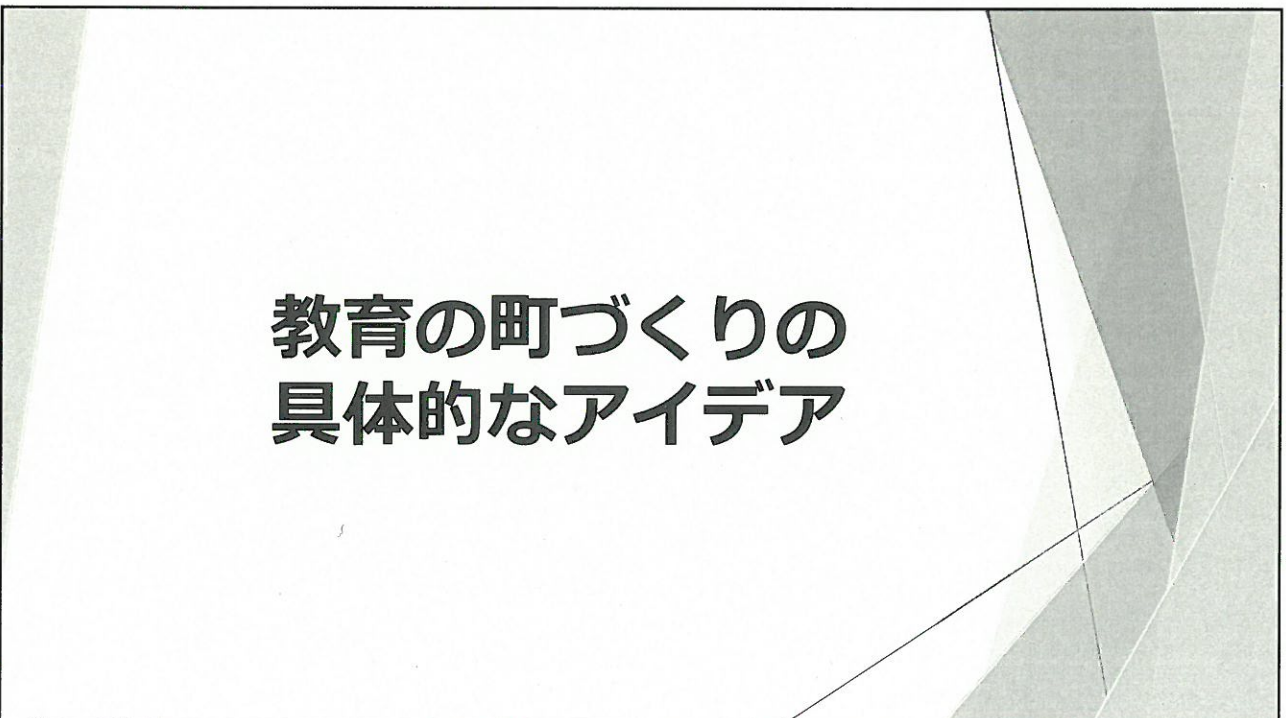
教育に力を入れた町づくりとは？

広い視野を持ち
自ら課題を見つけ
解決に取り組む人材を
育てる町づくり



教育の町が大切にする学び

**自分と異なる世代から
得られる学び**



**教育の町づくりの
具体的なアイデア**

学習を活用したまちづくりの例

事例①:愛媛県新居浜市 「まちづくり協議会」による「地域主導型」のまちづくり

- 泉川地区では地域自ら課題を解決する「地域主導型」のまちづくりを目指し、地域の様々な関係者による「まちづくり協議会」を創設し、公民館の職員が中心となり、総合事務局としてコーディネート役を担っている。
- 協議会では、健康づくり部会・地域福祉部会において、拡大する医療・介護費の削減を目指し、住民自身による意識調査やワークショップ、ウォーキングの実施など、地域ぐるみで健康寿命の延伸に取り組んでいる。
- 各部会において住民と児童による安全マップ作成、地域清掃、植樹活動、泉川ふるさと塾による生活・文化学習とその実践など、住民が主体的に持続可能な地域づくりを進めている。



「まちづくり協議会」組織体制



新居浜市 地域主導型まちづくり

事例②:秋田県北秋田市 共生型地域コミュニティ形成に向けた人材育成

- 北秋田市が抱える①過疎化、②若者の県外流出、③市民協働体制の確立の3つの課題に対し、地域を担う人材育成を行っている。
- 公民館の職員が中心となり、地域の様々な関係者からなるネットワークのコーディネートを行っている。
- ・まちづくりシンポジウムや市民によるワークショップ、講演会・講座の開催など多様な学習機会を提供
- ・若者の定住化策として若手農家のイメージアップ、生産物のブランド化(トラ男米)
- ・県立秋田北鷹高等学校と連携した商品開発や市民参加の高校生イベントの実施
- ・小学校と公民館の共催による防災キャンプの実施



(中学生と地域住民とともに学ぶワークショップ)



ブランドイメージ戦略「トラ男米」

縦のつながり

活動拠点の
一極集中

学習を活用したまちづくりの例

事例①:愛媛県新居浜市 「まちづくり協議会」による「地域主導型」のまちづくり

- 泉川地区では地域自ら課題を解決する「地域主導型」のまちづくりを目指し、地域の様々な関係者による「まちづくり協議会」を創設し、公民館の職員が中心となり、総合事務局としてコーディネート役を担っている。
- 協議会では、健康づくり部会・地域福祉部会において、拡大する医療・介護費の削減を目指し、住民自身による意識調査やワークショップ、ウォーキングの実施など、地域ぐるみで健康寿命の延伸に取り組んでいる。
- 各部会において住民と児童による安全マップ作成、地域清掃、植樹活動、泉川ふるさと塾による生活・文化学習とその実践など、住民が主体的に持続可能な地域づくりを進めている。



「まちづくり協議会」組織体制



新居浜市 地域主導型まちづくり

事例②:秋田県北秋田市 共生型地域コミュニティ形成に向けた人材育成

- 北秋田市が抱える①過疎化、②若者の県外流出、③市民協働体制の確立の3つの課題に対し、地域を担う人材育成を行っている。
- 公民館の職員が中心となり、地域の様々な関係者からなるネットワークのコーディネートを行っている。
- ・まちづくりシンポジウムや市民によるワークショップ、講演会・講座の開催など多様な学習機会を提供
- ・若者の定住化策として若手農家のイメージアップ、生産物のブランド化(トラ男米)
- ・県立秋田北鷹高等学校と連携した商品開発や市民参加の高校生イベントの実施
- ・小学校と公民館の共催による防災キャンプの実施



(中学生と地域住民とともに学ぶワークショップ)



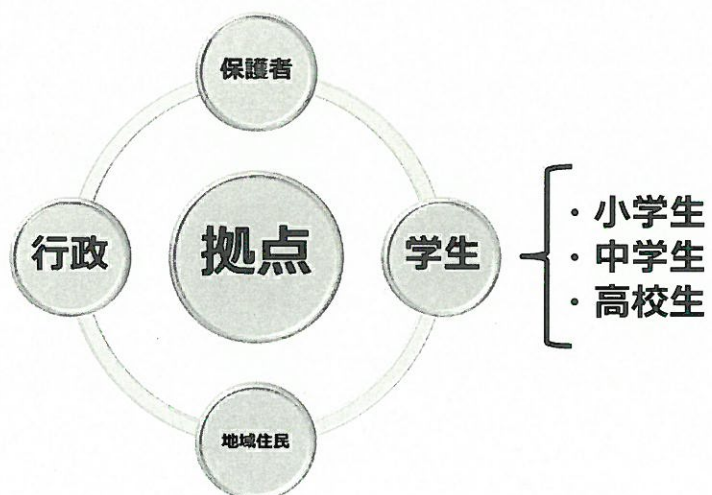
ブランドイメージ戦略「トラ男米」

縦のつながり

農業系高校
との連携

アイデア①

「町づくりの拠点への一極集中」



アイデア②

「全世代参加型ワイガヤ議会」

- 世代がバラバラのグループを作り
北方町に感じる良さと悪さを話し合う。
- 北方町の良さをより高め、悪いところ
を解決するアイデアを話し合う。

アイデア③

「北方町未来アイデアコンテスト」

- 防災や交通安全・健康増進・地域振興など
地域課題別にアイデアを発表。
- より良いアイデアは表彰され
実行可能なものは実行に移される。

アイデア④

「岐阜農林高校を活用した学び」

- 農業の楽しさ・食品の流れを
高校生と共に体験で学ぶ。**
- 町民が集う場で防災・交通安全
などを啓発する演劇を依頼する。**

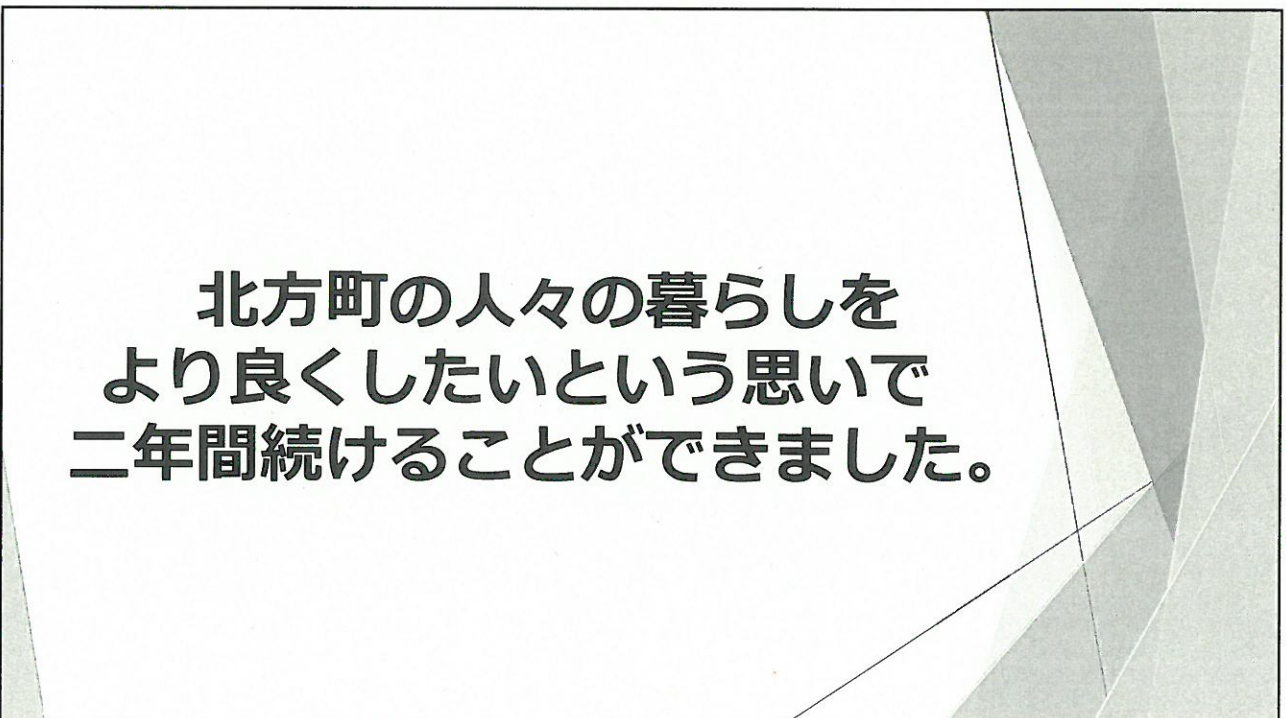
アイデア⑤

「教育の町づくりを外に発信」

- 魅力ある町づくりの成果を情報発信し
移住・定住の促進に繋げる。
- 情報発信の工夫については町民から
アイデアを募る。



おわりに



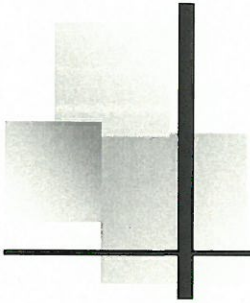
**北方町の人々の暮らしを
より良くしたいという思いで
二年間続けることができました。**

**私たちの提案が、
北方町が今後立ち向かうであろう
課題の一助となれば幸いです。**

ご清聴ありがとうございました！



北方町
KITAGATA TOWN
GIFU, JAPAN



グループ3

北方町ワイガヤ議会グループ3 最終報告

リーダー

平野 快
松波 耕平
村瀬 晃代
大野 雄太郎

岩田 梨乃
西村 友恵
加藤 博斗
八木 悠介

メインテーマ

北方町の人口減少を止め人口を増やすには

なぜこのテーマに行き着いたか

前回のテーマを踏まえて人口減少の原因、高齢化、少子化、人口流出



今いる人にとどまってもらうには？
新しく入ってきてもらうには？

など



メインテーマに決定

これを踏まえて行ってきた協議日程

6 / 2 5 不法投棄問題、免許返納策

7 / 2 3 ごみ対策、車に困らず暮らせる対策

8 / 2 9 人口減少を食い止める策、前回のテーマの追加意見など

9 / 2 0 最終発表にむけた会議

6/25 河川等の不法投棄について

- ・ 清流平和公園付近の河川清掃
- ・ 各公園でのごみ箱設置
- ・ 印象的な注意書きの看板を作る
- ・ 鳥居やお地蔵さんを作り心理的なゴミ捨ての抑制

運転免許証支援政策について

- ・ 免許返納の意義とは？
- ・ 現在行われている支援策は一過性が多い
- ・ 返納によるデメリットを超えるメリットを考える

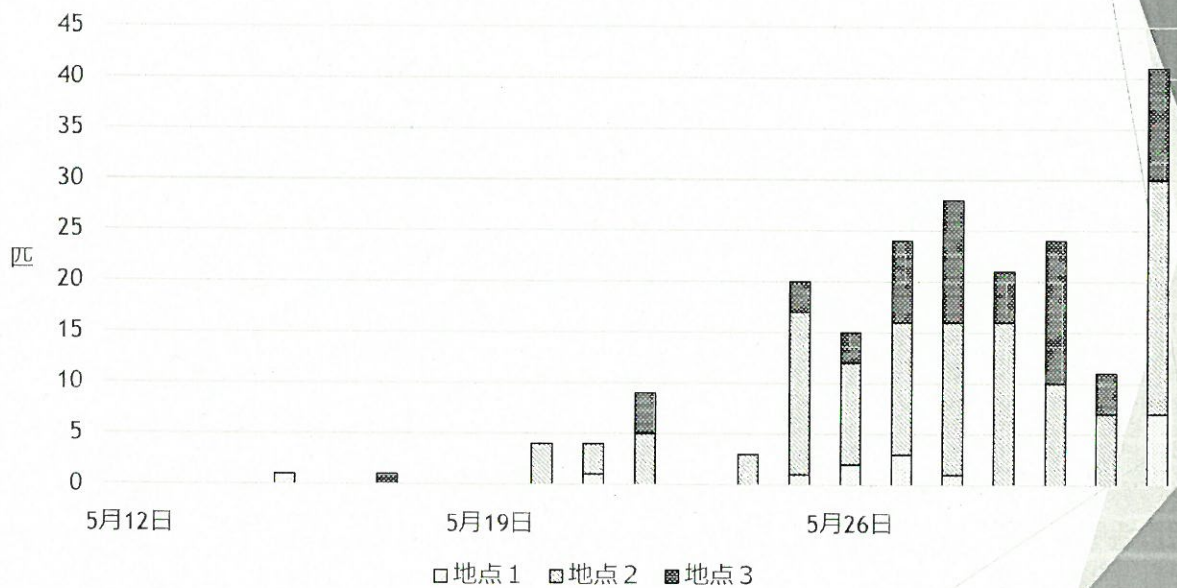
運転免許証支援政策の課題

- ・ 車がないことでの外出を控えることのないよう、体を動かす機会を作る
- ・ 高齢者運転の表示の配布→金額的負担が多い
- ・ 車がないことのデメリットが多い

7/23 ゴミを拾ってもらうための対策について

- ・ 町内一斉美化運動を涼しい時期に行う
 - ・ ゲーム感覚でのイベント実施
 - ・ ラジオ体操前後に清掃活動を行う
 - ・ 除草をこまめに実施して捨てられにくい環境を作る
- ※ホタル保護条例の影響で出来ない期間がある

各地点における蛍の生息数



- ・ 一定量のごみを収集してポイント付与し商品等と交換
- ・ 清掃活動を行う団体を結成し会員に会員証を発行して会員証を提示することでさまざまな特典を受けられるようになる
- ・ 瑞穂市で行っている空き缶回収でポイント付与に近い



車がなくても困らずに暮らしていけるための対策について

- ・協議したが対策はデメリットが多く車を手放すのは無理があるのではないか？
- ・事故を減らす対策では市販の後付けの誤発進抑制装置を付けてみてはどうか？

車がなくても困らずに暮らしていけるための対策について

- ・高齢者の多い地区や交通機関が乏しい地区に販売所を設置する
- ・北方町の区間を大きく取った定期券のようなものをつくりバスを利用してもらってはどうか？

車がなくても困らずに暮らしていけるための対策について課題

- ・バス利用は、荷物を持って歩く必要と本数と待ち時間もあるためデメリットが多い
- ・車がないと日常のゴミ出しはどうするのか？

8/29 人口減少を食い止める（北方町に人口を流入させる）ための対策において

- ・観光等で交流人口を増やすのか、定住人口を増やすのかで考え方が変わってくる
- ・観光がきっかけで交流人口増でも定住促進に一定の効果は見込める。いきなり定住促進を狙うのは様々な施策が必要で、ハードルが高めでは？

定住人口を増やすには？

- ・ バスなどの交通機関の充実と安心安全な街作り
- ・ きれいな街づくり
- ・ 空き教室を活用したアフタースクールの取組

交流人口を増やすには？

- ・ 民泊を活用して、一時的に滞在してもらえるイベントを考えられないか、天然のホタルを活用したイベント
- ・ 清流フェスで北方町にちなんだ景品を作る
- ・ カワセミウォッチングなど町のきれいさをPRする
- ・ 清流平和公園でアウトドア（キャンプ）を試してみる

前回のテーマの追加意見において

- ・河川清掃や地域清掃できれいになった環境の写真をSNSで拡散し、きれいな街づくりに関心を持つようにPRする
- ・清流フェスの出演者と共にゴミ拾いをするイベントはどうか？

9/20 最終発表にむけた会議において

- ・ 人口減少 高齢化 少子化 人口流出
- ・ 今いる人にとどまってもらう＝定住してもらう
- ・ 新しく入ってきてもらう＝魅力の発信

定住しているための政策において

- ・バスなどの交通機関を増やす
- ・カフェやスポーツなどコミュニティや体を動かす機会を作る
- ・教育面 アフタースクールの充実
- ・免許返納策

魅力の発信

- ・ホタルを使ったイベント 民泊
- ・清流フェスで北方をアピールする
- ・カワセミウォッチング



ご清聴ありがとうございました

